

高圧ガス輸入検査申請書等（様式 A）

（シリンダー等容器による輸入）

様式 A - 1

輸入検査申請書	一般	×整理番号	
	液石	×検査結果	
	冷凍	×受理年月日	年 月 日
名 称			
事務所（本社）所在地	〒 - TEL - -		
高圧ガスの種類及び数量	(圧縮ガスの種類) 1本当たり		本数 数量
		m ³ ×	本 = m ³
		m ³ ×	本 = m ³
		m ³ ×	本 = m ³
	圧縮ガス計		本 m ³
(液化ガスの種類) 1本当たり		本数 数量	
	kg ×	本 = kg	
	kg ×	本 = kg	
	kg ×	本 = kg	
液化ガス計		本 kg	
(液化ガス10kgを1m ³ として換算してください。)	輸入総合計 (m ³ 換算)	手数料	
陸揚地及び陸揚年月日	神戸港	令和 年 月 日	
貯蔵又は保管場所			

(申請日) 令和 年 月 日

代表者 氏名

一般社団法人兵庫県高圧ガス保安協会 殿

- 備考 1 この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ×印の項は記載しないこと。

輸 入 高 圧 ガ ス 明 細 書		
製 品 名		
使 用 目 的		
高圧ガスの圧力		
高圧ガスの成分		
高圧ガスの数量		
充填事業所	名 称	
	所在地	
容 器 の 種 類	容 器 規 格 名	
	規 格 番 号	
	容器記号・番号	
	耐圧試験圧力	
	最高充填圧力	
	内容積(又は内容量)	
容器製造所	名 称	
	所在地	
連 絡 先	名 称	
	部署・氏名	TEL - -
	メールアドレス	
代行手続者	名 称	
	部署・氏名	TEL - -
	メールアドレス	

- 備考 1 この様式の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 2 高圧ガスの圧力、高圧ガスの成分、高圧ガスの数量及び容器の種類の記載事項については、その内容を証明する書面を添付すること。

高圧ガス輸入検査申請書等（様式B）

（タンクコンテナ等による輸入）

様式B-1

輸入検査申請書	一般 液石 冷凍	×整理番号	
		×検査結果	
		×受理年月日	年 月 日
名 称			
事務所（本社）所在地	〒 - TEL - -		
高圧ガスの種類及び数量	(圧縮ガス)	種類	数量
			m ³ m ³ m ³ ----- 圧縮ガス計 m ³
	(液化ガス)	種類	数量
			kg kg kg ----- 液化ガス計 kg
(液化ガス10kgを1m ³ として換算してください。) →	輸入総合計 (m ³ 換算)		手数料
陸揚地及び陸揚年月日	神戸港 令和 年 月 日		
貯蔵又は保管場所			

(申請日) 令和 年 月 日

代表者 氏名

一般社団法人兵庫県高圧ガス保安協会 殿

- 備考 1 この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ×印の項は記載しないこと。

輸 入 高 圧 ガ ス 明 細 書		
製 品 名		
使 用 目 的		
高圧ガスの圧力		
高圧ガスの成分		
高圧ガスの数量		
充填事業所	名 称	
	所在地	
容 器 の 種 類	容 器 規 格 名	
	規 格 番 号	
	容器記号・番号	
	耐圧試験圧力	
	最高充填圧力	
	内容積(又は内容量)	
容器製造所	名 称	
	所在地	
連 絡 先	名 称	
	部署・氏名	TEL - -
	メールアドレス	
代行手続者	名 称	
	部署・氏名	TEL - -
	メールアドレス	

- 備考 1 この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 高圧ガスの圧力、高圧ガスの成分、高圧ガスの数量及び容器の種類の記載事項については、その内容を証明する書面を添付すること。

【C. 充填量が内容物確認試験の基準を満たしていることを確認する書類】

製造細目告示12条の16第1号ハ（輸入高圧ガスに関する内容物試験の基準）

圧縮ガス（アセチレンを除く。）にあつてはそのガスの圧力が充填された容器の耐圧試験圧力の3/5（再充填禁止容器にあつては、4/5）以下の圧力であり、液化ガスにあつてはその質量が容器保安規則第22条の規定により計算した質量以下のものであることを確認すること。）

のセルに入力してください。（計算結果は小数点第2位を四捨五入です。）

輸入する高圧ガスの名称（

① 圧縮ガス（アセチレンを除く。）

充填されたガスの圧力が耐圧試験圧力の3/5（再充填禁止容器にあつては、4/5）以下であること

・再充填禁止容器以外の場合

$$\begin{aligned} \text{充填可能圧力} &= \text{耐圧試験圧力} (\quad) \text{ MP a} \times 3/5 \\ &= (\quad 0 \quad) \text{ MP a} \geq \text{充填圧力} (\quad) \text{ MP a}^{\ast} \end{aligned}$$

計算値を表示します

※：35℃における圧力を入力

・再充填禁止容器の場合

$$\begin{aligned} \text{充填可能圧力} &= \text{耐圧試験圧力} (\quad) \text{ MP a} \times 4/5 \\ &= (\quad 0 \quad) \text{ MP a} \geq \text{充填圧力} (\quad) \text{ MP a} \end{aligned}$$

計算値を表示します

② 液化ガス

充填されたガスの質量が、容器則第22条の規定により計算した質量以下であること

$$\begin{aligned} \text{充填可能質量} &= V / C = (\quad) / (\quad) \\ &= (\quad \text{Cが未入力} \quad) \text{ k g} \geq \text{充填質量} (\quad) \text{ k g} \end{aligned}$$

計算値を表示します

V：容器の内容積（単位：リットル）

C：容器則第22条で、容器の種類及びガスの種類に応じて定められる数値 *

* 数値が第22条の表の定数でない場合、Cの値を求める算式も提出して下さい。

低温容器、超低温容器の場合は、当該容器の常用の温度のうち最高のものにおける当該液化ガスの比重（kg/リットル）の確認できる書類を提出して下さい。

低温容器、超低温容器以外の容器で、内容積が500リットル以下の容器に充填されている場合は温度55℃における比重、内容積が500リットル以上の容器に充填されている場合は温度48℃における比重の確認できる書類を提出して下さい。

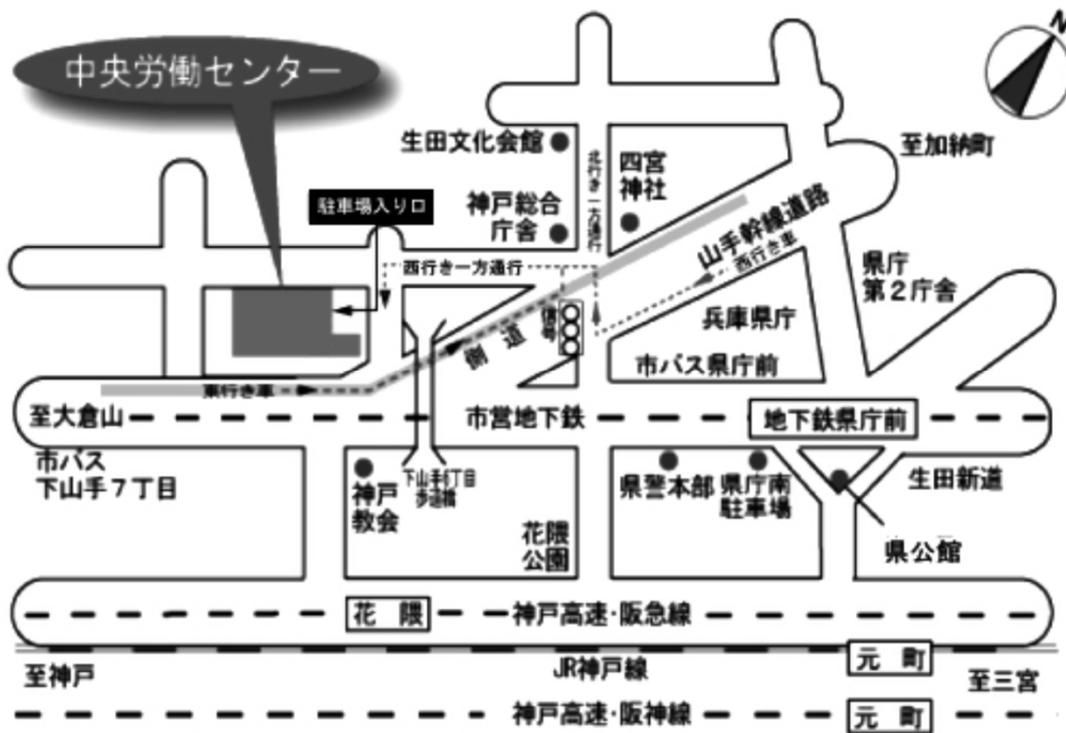
※再充填禁止容器とは、高圧ガスを一度充填した後再度高圧ガスを充填することができないものとして製造された容器（容器保安規則第2条第6号）

当協会の所在地

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3番28号(兵庫県中央労働センター3階)

一般社団法人 兵庫県高压ガス保安協会

《兵庫県立中央労働センター 案内図》



【駐車場】 中央労働センターには、当協会専用駐車場はございません。
満車の場合、恐れ入りますが、近隣の駐車場をご利用ください。